



群 市 発 第 4 1 号

群 町 村 発 第 3 3 号

平 成 2 4 年 6 月 2 2 日

群馬県知事 大 澤 正 明 様

群馬県市長会

会 長 清 水 聖 義



群馬県町村会

会 長 宮 前 歙 十 郎



消防救急無線のデジタル化に伴う財政支援について

日頃から都市行政の各般にわたるご指導、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

特に、市町村との連携を基軸とした県政運営に努めて頂き、深く感謝申し上げます。

さて、アナログ方式からデジタル方式への移行が決められてる消防救急無線については、その期限が平成28年5月末に迫っている状況ではありますが、多額の整備費用が伴うことから、これまでも県当局のご尽力の下、共同整備等の検討を重ねて参りましたが、経費の縮減手法の捉え方が各消防本部で異なり、結果として、5消防本部が単独、6消防本部が共同で整備していく方針となりました。

しかしながら、整備に掛かる費用は高額であることに変わりはなく、市町村財政が厳しさを増すなか、更には、中山間地域を多く抱える消防本部においては、より多くの基地局を設置しなければならず、必然として整備費用も高額となります。

つきましては、消防救急無線のデジタル化にあたって、市町村の財政状況及び中山間地域を多く抱える本県の地理的特性を踏まえ、群馬県において財政支援制度を創設し、市町村消防の充実強化に特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。